

国際ロータリー第266地区

地区委員会

活動報告書

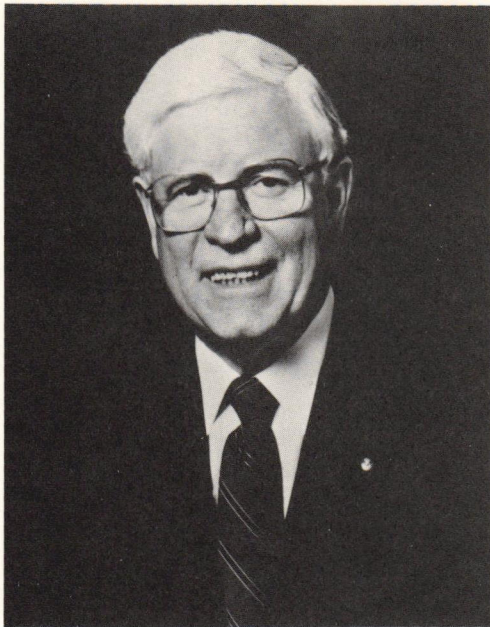
1988～'89年度

ガバナー 古田 敬三

1988—'89年度 合同地区委員長会議
1989—'90

1989年 6月 10日(土)

於：薬業年金会館



Royce Albert

ロイス・アビー
1988-89年度国際ロータリー会長

ロータリアンの皆さん、

活力とは行動を意味します。ロータリーは行動です。ロータリーとはロータリーが何をするかです。しかし、あなたなしに、ロータリーは存在しません。ロータリーは、行動志向の奉仕組織です。ロータリアンが、ロータリーを生かすのです。いうなれば、あなた自らが直接参加することによってロータリーが生きるのです。あなたの行動がロータリーに活力を与えるのです。

だからこそ、私はあなたに要請します。「ロータリーに活力を一あなたの活力を」

あなたの心の奥にあるのは、奉仕への献身、

奉仕するという確固たる決意です。奉仕へのこの決意は、地域社会や世界の人々の生活水準を高めたいという願望が、基になるばかりでなく、他の実業人や専門職業人、あなたのクラブの先達との特別の友情からも生まれます。ロータリアンは、クラブにおいて、また、クラブを通じて、最もよく、最も効果的に奉仕できます。

明確な目標があつてこそ積極的な行動が生まれます。私たちが、高い目的と目標を掲げているのは、尽きることなく現れる新しい要請に全力を挙げて挑戦しなければならぬからです。

ロータリアンの皆さん、私は、皆さんに行動するよう要請します。なぜなら、大切なのは、何を言うかではなく、何を行うかだからです。そこで、私は、皆さんにお願いします。私たちの挑戦する多くの目標に到達できるようまず奉仕の行動計画と作戦を練って下さい、と。

ロータリアンは、その背景と人となりからして、実務的な人です。私たちは、行動の人なのです。これが、私たちの成功の秘訣です。100万を超す会員を結集する私たちは、この変動する世界で、変革と改善の積極的な担い手になります。私たちの力を発揮する機会は会員だからこそ得られます。ときは今です！

ロータリーに結集する皆さん、私は皆さんに要請します。援助を必要としている人々に対して、それにふさわしいプログラムを実施して、善意をはぐくみ、さらに、理解を深めることによって、「ロータリーに活力を一あなたの活力を」

国際ロータリー第266地区 地区委員会
 「活動報告書」正誤・追記表

委員会名	頁	行	誤	正 又は 追記
職業奉仕	12	本文 6行目 下から4行目	…ないことを承知した。 集中によれば	…ないことを承知 <u>していた</u> 。 集計によれば
社会奉仕	14 15	下から6行目 4行目	解説 「 <u>進退</u> の七つの条件」	開設 「 <u>身体</u> の七つの条件」
緑化推進	18	本文 5行目	(<u>千里</u> 万博閉幕の…)	(<u>大阪</u> 万博閉幕後の…)
ローターアクト	23	下から6行目	<u>地</u> 田RAC	<u>池</u> 田RAC
青少年交換	28 29	下の表 " "	No.1 François Hugo No.10 (Wumme) No.6 空白の欄	François Wumme Whittling Edwerd Ham/男/ 17/Aurora
国際交流	33		追記	9.ソウル国際大会行オリエンテーション開催(1989年5月9日 於:関電会館)ソウル国際大会行委員会と合同にて、当地区ソウル大会出席者多数の為、各クラブ代表(ソウル大会行委員又は国際奉仕委員長)の出席のもと、古田ガバナー、戸田国際奉仕担当PG世戸ソウル大会行委員長をお招きし大変活発なオリエンテーションとなった。
研究グループ交換	39	5行目	武尾敬之助(大阪西南)	武尾敬之助(大阪 <u>西北</u>)
財団増進	42	6~7行目	ポリオ・プラス目標…	無条件寄付一人当たり順位表(1988.12.31.現在)——ポリオ・プラス目標達成率を付記——を各クラブに送付。

目 次

座席表

プログラム

合同委員長会議開催に当って

ガバナー 古田 敬三…………… 1

地区ガバナー指名委員会…………… 3

意義ある業績賞委員会…………… 4

クラブ奉仕部門

会員増強委員会…………… 6

広報・雑誌委員会…………… 7

規定情報委員会…………… 9

ロータリーの友委員…………… 11

職業奉仕部門

職業奉仕委員会…………… 12

社会奉仕部門

社会奉仕委員会…………… 14

緑化推進委員会…………… 18

青少年奉仕部門

青少年活動委員会…………… 20

ローターアクト委員会…………… 21

インターアクト委員会…………… 24

国際奉仕部門

世界社会奉仕委員会…………… 25

青少年交換委員会…………… 26

米山奨学委員会…………… 30

国際交流委員会…………… 32

ソウル大会行委員会…………… 34

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会…………… 35

財団奨学金委員会…………… 36

研究グループ交換委員会…………… 39

財団増進委員会…………… 41

財団学友委員会…………… 42

ポリオ・プラス委員会…………… 43

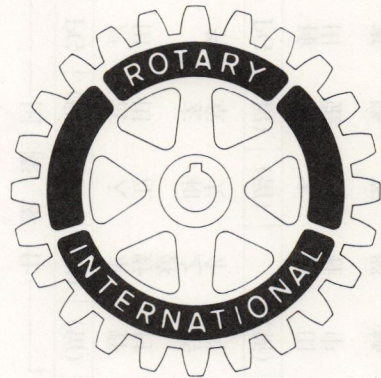
拡大部門

拡大委員会…………… 45

地区財務収支報告…………… 46

地区大会…………… 50

ロータリー
に
活力を—
あなたの
活力を



PUT LIFE
INTO
ROTARY-
YOUR
LIFE

地区委員長会議座席表

1989年6月10日(土)

於：薬業年金会館

進行
生駒
一夫

PG	PG	PG	PG	PG	GN	G	GE	PG	PG	PG	PG	PG
中西 正二	世戸 一夫	種田 憲次	峯村 英薫	伊藤 恭一	廣瀬 勘一郎	古田 敬三	武尾 敬之助	松本 良諄	伊瀬 芳吉	戸田 孝	中村 俊一	坂東 宏

「ロータリー財団」			「ロータリーの友」			「社会奉仕」			「職業奉仕」			「クラブ奉仕」			「青年奉仕」			「少青年奉仕」											
中塚良太郎 (新)	伊藤徳次郎	山中 文和	中田 康仁	田中 純吉	大社 照史	木村 英一	名張 隆政	種田 憲次	下地 民男 (新)	伊藤 正之	細川 信義	吉川 秀一	世戸 一夫 <small>(国際奉仕兼任)</small>	野村 浩司	永野 啓之介	入江 和夫	宮田 宏章	戸田 孝	藤井 泰弘	藤井 則郎	日幸 等徳	白井 治義	諏訪 正美	坂東 宏	福西 幸夫	鍛冶 豊治	和田 俊一	八田 昌三	

(留) は留任
(新) は新任

地区大会						社会	
次年度	地区幹事	(新)	(新)	(新)	(新)	(新)	(新)
		木村 五郎	福田 保朝	西川 実	高林 辰行	牧内 栄蔵	森 恕
							小山 隆三
地区幹事							

国際ロータリー第266地区

1988-1989 年度合同地区委員長会議
1989-1990

プ ロ グ ラ ム

1989年6月10日(土) 10:00~

於：薬業年金会館 3F 301号室

進行・地区幹事 生駒 一夫

9:30	登録開始	
10:00	開会点鐘	ガバナー 古田 敬三
10:00~10:30	ロータリー・ソング「奉仕の理想」 挨拶、参加者・委員長紹介 挨拶、次期委員長紹介	ガバナー 古田 敬三 ガバナー・エレクト 武尾敬之助
10:30~12:00	本会議 本年度委員会の活動について 地区指名／意義ある業績賞／クラブ奉仕／ 拡大／職業奉仕／社会奉仕	各委員長
12:00~13:00	休憩・昼食	
13:00~14:30	本会議 本年度委員会の活動について 国際奉仕／ロータリー財団	各委員長
14:30~14:45	休憩	
14:45~15:50	本会議 本年度委員会の活動について 青少年奉仕／財務／地区大会／ ロータリーの友委員	各委員長
15:50~16:00	謝辞	ガバナー 古田 敬三
	ロータリー・ソング「我等の生業」	
16:00	閉会点鐘	ガバナー 古田 敬三

合同地区委員長会議開催に当って

ガバナー 古田 敬三

本年度国際ロータリーのテーマ「ロータリーに活力を—あなたの活力を」に沿って活動して頂いた各委員会に、深く感謝の意を表します。

地区会員数は期初4,769名でありましたが、2月末現在4,909名で140名2.93%の増であり、本年度ロイス・アビー会長の目標NET10%に程遠いものでありますが、各クラブ共それぞれ目標へ向かっての努力に敬意を表します。

拡大は年度早々に大阪阪南RCが創立20周年を記念して大阪天王寺RCを創立されました。また、6月には高槻東RCのスポンサーで、高槻市内に夜の例会「高槻西RC」を創立されることが決定されました。2クラブ創立に協力されたスポンサークラブ他関係者の皆さんに厚く御礼を申し上げます。

昨年度末の継続事業でありました地区職業分類表がようやく完成し、さる3月31日の地区大会で各クラブに配布されました。各クラブでこれを重要な参考書としてご利用頂ければ幸いです。

「国際花と緑の博覧会」については、当地区の皆さんに本年度及び次年度に亘り計1万円の協賛を、また、近隣及び全国のロータリアンにそれぞれ応分の協賛をご依頼しております。会場には沖縄や鹿児島県に自生するシマサルスベリの巨木を用いてゲートを連想させるようなものを計画しております。

身体障害児等白浜招待旅行は、本年度は第5回目であり、川久旅館改装のため日帰り旅行になりましたが、楽しくサファリを見学して事故なく終了しました。

本年度はRI第144地区デンマークとG.S.E.チームの交換をしました。昨年9月摂津RC榎村氏を団長とするチームはデンマーク5週間滞在中、心温まる配慮を受けて帰国、本年3月末にはRI第144地区よりクリスチャンセン氏を団長とするチームが来日、5週間の滞在中友好と国際理解の実を挙げて5月4日無事帰国しました。

ポリオ・プラス募金は当地区4年計画の第3年度に当り、各クラブに強力に依頼した

結果、2月末現在で地区平均94%に達し、100%達成クラブは27になりました。

米山奨学生は従来主として東南アジアの学生に限定されていましたが、かつてロータリーがあって現在無い国からも選考することが出来ることとなり、本年度は中国の学生が4名選ばれました。

本年5月韓国ソウルにて開催のロータリー国際大会に一人でも多く参加して頂くために、地区に「ソウル大会行委員会」を設けて勧誘の結果、1,000名以上の参加者を募ることが出来ました。

この他、地区各委員会がそれぞれ活発な奉仕活動を行って頂きましたことに対し、衷心より厚く御礼申し上げます。我々ロータリアンは来りて、また、去って行きます。しかし、ロータリーは永遠に続くのです。来るべき新年度への継承が立派に行われ、新ガバナーの下、更に活発な奉仕活動の展開されることを心から願っています。

地区ガバナー指名委員会

委員長	松本 良諄(大阪東)	委員	種田 憲次(大阪住吉)
委員	原田 秀雄(大阪北)	〃	戸田 孝(八尾)
〃	伊藤 恭一(大阪)	〃	世戸 一夫(大阪難波)
〃	峯村 英薫(大阪東)	〃	中村 俊一(東大阪)
〃	平井常次郎(大阪南)	〃	中西 正二(大阪西)
〃	菅生 謙三(大阪北)	〃	坂東 宏(吹田)
〃	伊瀬 芳吉(池田)		

地区ガバナー指名委員会は、ガバナー月信第2号(8月号)において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第12条第7節(e)及び当地区ガバナー指名委員会規約6により候補者の推薦をお願いしましたが、期日までに申し出がありませんでした。

そこで、地区ガバナー指名委員会規約6の規定に基き、昭和63年11月14日開催した地区ガバナー指名委員会において慎重審議の結果、全員一致をもって、大阪西南ロータリークラブのシニア・アクティブ会員廣瀬勘一郎君を1990~91年度国際ロータリー第266地区ガバナー・ノミネー候補者として推薦することに決定しました。

意義ある業績賞委員会

委員長 松本 良諄(大阪東)

委員 中西 正二(大阪西)

〃 坂東 宏(吹田)

昭和63年12月26日に委員会を開き、申請のあった5件について審査を行った結果、全員一致で下記の通り受賞候補クラブを選び、地区ガバナーに報告しました。

記

1. 「意義ある業績賞」(RI会長表彰)

大阪南ロータリークラブ

ボランティア活動の重要性に着目し、1986年から地域内ボランティア・ビューローの設置を目指して活動を始めた。以来、行政、ボランティア・グループ等と接触を続け、調査、研究、活動の研修に努め、ついに1989年2月東住吉区にボランティア・ビューローを開設した。

3年間に亘る準備活動ならびに奉仕の実践はロータリーによるボランティア活動のパイオニアとして高く評価されるものである。

2. 「準意義ある業績賞」(地区ガバナー表彰)

次の2クラブを受賞候補に選んだ。

(1) 高槻東ロータリークラブ

高槻市制45周年、クラブ創立15周年を記念して「21世紀の国際社会—反省・変革・展望」をテーマに、市民会館で一般市民にも公開の討論会を行った。

戸田パスト・ガバナーをコーディネーターとして、6人の日本在住外国人と高槻市

長をパネリストに迎えて、活発な討論が行われ、国際化意識の高揚と、ロータリーのPRに貢献したことを評価する。

(2) 豊中南ロータリークラブ

次の諸活動を総合して評価した。

ア. 姉妹クラブである韓国梁山ロータリークラブの梁山女子総合高校インターアクトクラブの学生、教師を豊中市に招き、1週間会員宅に分散ホームステイさせ、見学・懇親を通じて対日認識を深めて貰った。3年連続の実績は評価に値する。

イ. クラブ創立20周年記念事業として、豊中市に体力測定器具と同器具搭載車を寄贈。また、クラブ主催でゲートボール大会を開き、69チーム、700名の参加者に参加賞を添えて「ロータリーの友」を贈った。

クラブ奉仕部門

担当パスト・ガバナー 松本良諄(大阪東)

会員増強委員会

委員長 八田 昌三(豊中南)

委員 和田 俊一(大阪平野)

〃 大枝 朗(吹田)

〃 中谷 治(大阪城東)

〃 山本 三雄(大阪大淀)

〃 大津 久直(大阪東淀)

1. 委員会開催

a. 第1回

昭和63年6月7日開催

古田ガバナー、松本クラブ奉仕担当パスト・ガバナー、武尾ガバナー・ノミネーの出席を得て、本年度の委員会活動計画に関し協議、決定する。

b. 第2回

昭和63年8月29日開催

古田ガバナー、松本クラブ奉仕担当パスト・ガバナー、武尾ガバナー・ノミネーの出席を得て、地区会員増強委員長会議開催の内容につき協議。

2. 例会卓話に出席

8月の「会員増強及び拡大月間」に伴い、月間中に下記クラブに出席、月間に因んだ卓話等を実施。

交野RC、豊中RC、八尾RC、大阪大手前RC、豊中南RC、大阪阪和RC

3. 各クラブの会員増強委員会活動計画資料収集の実施

各クラブが会員増強に関し、どのような方針で臨むかを調査し、地区委員長会議の参考資料とするため、「会員増強委員会活動方針」の報告を求め、8月末ま

でに全クラブの回収を得た。

4. 地区拡大・会員増強委員長会議開催。

昭和63年9月12日(月)午後3時から大阪YMCA会館に於いて、古田ガバナー、松本クラブ奉仕担当パスト・ガバナー、武尾ガバナー・ノミニー、世戸拡大委員長、拡大委員会委員、会員増強委員会委員、並びに各クラブから会長、会員増強委員長等150名の出席を得て、拡大委員会と共催して開催。

拡大部門と会員増強の必要性に対する活動の促進、及び現況に関し各種資料を基に論議された。

5. 手引書の配布

昨年度に引き続き、本年度も地区委員長会議に際し、「会員増強・退会防止の手引」の冊子を希望クラブに有償配布した。

6. 視聴覚資料の購入

各クラブの会員に対し、会員増強の必要性をアピールするため、「会員増強：クラブが取り組むべき課題」のスライドを購入常備したが、本年度の利用は「大阪うつぼRC」のみであった。

7. 残余期間の活動

前記スライドを解説する台本を日本語のテープ吹き込みに編集し、次年度より広く各クラブの卓話時間に利用されるよう努めたいと考えている。

広報・雑誌委員会

委員長 鍛冶 豊治 (大阪心斎橋)

委員 足達 忠利 (吹田)

〃 大江 龍郎 (大阪西)

〃 木戸 栄久 (大阪)

〃 福西 幸夫 (大阪心斎橋)

〃 田中 経久 (大阪東)

1. 広報の活動

a) 「より前向きの広報活動を」と志し、まず8月18日在阪主要報道各社の幹部と新ガバナー、当年度地区として取り組む主だった活動担当の関係者との懇談会をターミナルホテルで開催した。

古田ガバナーの挨拶のあと種田パストガバナーからポリオプラスの進捗状況について、圓井緑化推進委員長からは明年行われる「国際花と緑の博覧会」へのロータリーとしての取組方を、また、三好社会奉仕委員長からは5回目を迎える「身体障害児等白浜招待旅行」についてそれぞれ説明した。これらの活動を通じ、その背景にあるロータリーの基本的な精神、考え方について適宜ガバナーならびに松本直前ガバナーから具体的な事例を用いて説明され、ロータリーへの正しい理解と支援要請がなされた。今回は、マスコミ側から従来にない突っ込んだ質問が相次ぎ、終始活発な内容の会合で、ロータリー活動への今後の関心と期待の昂まりが強く感じられた。

b) 本年度クラブ広報委員長会議は日程の都合で地区情報セミナー会議に合わせ9月16日にNCB会館において行った。

会議は事前に各クラブから寄せられた広報活動計画アンケートに基づいて、出席各クラブからそれぞれ、広報活動の現状と問題点などについて具体的かつ貴重な発言が続き、規定の時間をオーバーするほど熱心な討議が重ねられ、実り多い会議であった。

2. 雑誌の活動

クラブ雑誌委員長会議を9月6日薬業年金会館で開催した。「ロータリーの友」から松平一郎特別顧問、村田長幹編集長を来賓に迎え、地区からは古田ガバナー、松本直前ガバナー、伊藤「友」地区委員が出席された。

古田ガバナーの挨拶のあと、松平特別顧問から単に「友」関係にとどまらず、広く国際的視野に立ってのロータリーの基本的理念や、具体的に各種事例を挙げながら今後ロータリアンとしていかにあるべきかについてお教えがあり、出席者全員が深い感銘を受けた。

村田編集長からは「友」の新しい企画や投稿その他についての実務的な説明があっ

たあと、伊藤「友」地区委員の司会で各クラブ委員長と活発な意見交換や質疑が行われた。

3. 次年度への伝達

委員長を除き委員の方には再任を願うので、基本事項はすべてご理解があり、特に付言する事項はない。

規定情報委員会

委員長 大西 淳 (大阪平野)

〃 吉野 昭夫 (大阪中央)

〃 板垣 周男 (豊中-大阪
国際空港)

〃 江原 政吉 (茨木東)

〃 三宅 謙伍 (大阪平野)

当委員会の情報活動は各クラブ並びに会員の自主的研鑽に期待しつつ、ロータリーの基礎的情報及び規定審議会立法案に関連する規定情報の現況を中心として出来るだけ理解に容易なるよう努力した。主なるものは次の通りである。

- 1) 昨年12月13日薬業年金会館にて各クラブ会長を対象とし、「1989年規定審議会立法案説明会」を開催、制定案133件全件についての説明を行った。同時に、その席上RI制作のロータリー・ニュース・ネットワーク (RNN) の日本語版テープを上映し、1月の「ロータリー理解推進月間」の情報伝達に活用されるよう、また、今後の日本語版制作に当たってのアンケート依頼など、各クラブの理解と協力をお願いした。
- 2) 1月上旬に地区内全クラブより制定案全件についての賛否の意思表示のアンケートを求め、62クラブよりの集計結果をまとめ、戸田孝地区代表議員に報告した。
- 3) 1月23日より26日に亘るシンガポール規定審議会終了後、戸田代表議員よりご報告を受けた採択案より特に重要かつ関心度の高いと思われるものを選択し、即刻「審議会が行った決定に関する報告書の速報版」を作製、郵送し、地区内全クラブにお知らせした。

せした。また、これは3月31日の地区大会会長幹事部門懇談会における審議会採択案説明会に於ける戸田代表議員よりの説明資料として用いられ、5月のソウル国際大会に向けての各クラブにおける今後の対応につき説明がなされた。

- 4) 1985～86年度中西正二PGのご在任中より3年度に亘り当委員会において検討を続けられてきた「職業分類表」の編纂につき、今期当初より慎重入念に作業を重ね、第1段階としてコンピュータ方式により約2,000業種の職業を選択分類し、最終段階には年末年始にかけ、中西、坂東、松本各PG、古田ガバナー、武尾GE、廣瀬GN他大阪RCより数名のメンバーの方々を始め13名の先輩ロータリアンのご示唆、ご協力を仰ぎ、数回に亘る当委員会を含む編集拡大委員会を開催し、3月中旬ようやく編集を完了。ただちに500部を製本し、3月31日地区大会会長幹事懇談会の席上、各クラブに配布という運びとなった。ご指導頂いた関係各位に改めて感謝の意を申し述べます。
- 5) 9月17日NCB会館で開催の地区情報セミナーロータリー情報部門、およびIGF第4、5、6各組においてそれぞれのテーマに従いロータリー情報の推進に務め、また、関西ロータリー研究会はじめ地区内数クラブよりの卓話依頼にも出向協力し、それぞれ時宜に応じた情報伝達に務めた。なお、一昨年発刊された「情報システムマニュアル」は例会5分間情報、行事月間情報提供、あるいは会報掲載など種々の方法により、それぞれクラブの自主的活用により大いに利用されているとの印象を受けている。

「ロータリーの友」

地区委員 伊藤徳次郎(吹田)

1. 「ロータリーの友」合同委員会について

「友」は委員の合議制で編集されるという基本理念により、ロータリーの友委員会は隔月の奇数月に開催されている。「友」委員長が座長となり、副委員長1名、特別顧問(パストガバナー歴代委員長経験者)、顧問(直前ガバナー)5名、常任委員4名、地区委員29名(各地区1名)、友の編集者3名が出席して開催される。今年度は7月に基本方針が決定され、9月、11月、1月、3月、5月と東京abc会館で行われた。

そのつど、会議の結果をレポートして「友」発展のための積極的な提案をした。

2. 「ロータリーの友」への出稿について

ガバナーのページとして11月号25ページに古田ガバナーの論文が、5月号30ページにはガバナー座談会「青少年活動のこれから」が掲載されています。

地区委員としては「地区のたより」(4ページ、12月号掲載)、「マイタウン・マイディストリクト」(半ページ、1月号掲載)の編集及び執筆を担当。

3. 活動方針

地区ガバナー、地区広報雑誌委員長、各クラブ雑誌委員長とのコミュニケーションをモットーとした。

地区の広報雑誌委員長と打ち合わせ、事前に4月の雑誌月間に関する資料を「ロータリー文庫」から集め、その歴史、エピソード、ルーツ、特徴等を各クラブ雑誌委員長宛に送付、卓話の材料を提供した。

2年委員を務めた期間で一番苦労したのは雑誌月間のキャンペーンであった。昨年度は8クラブ、今年度は7クラブで卓話を担当したが、ハードスケジュールであったことが、一番の反省材料だと思っている。

4. 次年度伝達事項

4月の雑誌月間のキャンペーンは「友」委員にはPRの好機ですが、あまりハードスケジュールを組まないことです。次年度「友」委員の中塚良太郎氏(大阪北RC)には4クラブくらいに絞って、地区雑誌委員長との協力分担で卓話して貰いたいと思います。

職 業 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー 中 村 俊 一(東大阪)

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 常持 敦(寝屋川)

委員 亀井 節治(大阪西北)

〃 本多 博(東大阪)

〃 川淵 秀夫(大阪)

〃 丹野 勝(大阪阿倍野)

一昨年8月、ケラー前会長が「この50年間職業奉仕をなおざりにして来た」という反省の上に立って40年ぶりにRIの職業奉仕委員会を開催し、その結果、昨年早々に「職業奉仕の新方針」と「実業および専門職業におけるロータリアンの宣言」が発表された。

当地区委員会においてもこれらを検討したが、前会長の反省には必ずしも同意出来なかった。私自身も数年間地区委員会にいて、つぶさに諸先輩の活動を見てきたが、それが決して「なおざりにしてきた」などと言えるものでないことを承知した。

しかし、アビー新会長の「ロータリーに活力を」と「活力とは行動・ロータリーとは行動」という方針と、古田ガバナーの「思いやりの心を行動で表そう」という主旨に対応して、昨年度の地区協議会から各クラブに「RIが“新方針”の中で奨励した“四つの活動”の中で、各クラブで出来ると思うものをたとえ一つでも取り組んで欲しい」と呼びかけた。9月の委員長会議や、10月の月間卓話、及び本年3月の地区大会でそのフォローを行った。そのアンケートの集中によれば

(A)本年度から積極的に取り組んだ……………16

(B)本年度は検討して来年度から取り組む……………34

とあり、回答のあった57クラブ中の50クラブがRIの「職業奉仕はクラブと会員両方の

責務である」という「焦点の変更」に取り組む姿勢を示された。

「具体的な行動」として各クラブが“四つの活動”の中から取り上げたものの大半は「職業情報」と「職業活動表彰」の二つで、これらは当地区の多くのクラブが過去に実績をもつもので、その意味では新しいものではなく「職業奉仕は変わった」などと言えるものではないという声も多かった。

ただ、当地区委員会としては、今回のRIの言う「クラブとしての行動」の主旨は理解出来るが、それを「職業奉仕はただ具体的な行動さえすればそれで終り」と単純に考えて、我々日本の、そして当地区のロータリアンが歴史的に大切にして来た「職業奉仕における個人の心の錬磨とそのための行動」が軽視されたり、棚上げされることを最も恐れるものである。「行動よりも心」とまでは考えないが、「心よりも行動」にならないし、「心と行動の両立」とも言えるだろうが、やはり「心のための行動」が職業奉仕のみならず、「ロータリーの原点」であると我々は信じているので、今回の規定審議会で採択された「実業および専門職業におけるロータリアンの宣言」の適切な日本語訳の出現を期待している。

社 会 奉 仕 部 門

担当パスト・ガバナー 中 西 正 二 (大阪西)

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 三好 宏 (大阪平野)

委 員 永野啓之介 (豊中-大阪
国際空港)

” 浜田 実男 (高槻東)

” 寺井 種伯 (大阪天満橋)

” 新津 敬直 (大阪西)

” 藤田 静男 (大阪北)

” 依岡 孝明 (大阪平野)

” 外山 紀郎 (大阪なにわ)

1. アンケート調査の実施

地区内各クラブの社会奉仕活動にとって参考となる資料ならびに情報の提供に努め、奉仕活動の活性化に努力するために行ったものである。(表1)

この資料は全クラブに配布かつ地区協議会の討論の議案に供した。

2. ボランティアの調査・発掘・支援の推進

ここ4年間提唱して来たが、アンケート調査報告書を通じその成果を見ても全般的に着実に具現化されつつある。

特に本年度は創立20周年を迎えられた大阪阪南RCが、その記念事業の一つとして東住吉区で社会福祉協議会に働きかけてボランティアビューローの解説に成功されたが、この事業は地区委員会の提唱を受けて4年前から大阪阪南RCの理事会と歴代の社会奉仕委員会が鋭意努力された結果出来たもので、この事業の成功を称えて本年度の「意義ある業績賞」を受賞されており、当委員会としても心から敬意を表したい。また、これを契機として地区内各クラブの努力で第2、第3のボランティアビューローが開設されるよう今後とも啓蒙していきたい。

3. 高齢者問題について

この問題はRIの世界的プロジェクトとして数年来展開されているが、当地区委員会としても地区内クラブに対して推奨事項として提唱している。即ち、「健やかに老いる条件」として「進退の七つの条件」及び「心の七つの条件」の提示を行い、テリトリーで活躍して貰うための老人に対するボランティア活動の詳細なマニュアルの配布を行った。「第10回高齢者の声」作文集の募集・審査・表彰に当委員会としても協力、府下各クラブにも紹介、啓蒙を行っている。

4. 地区挙げての実験的奉仕活動として「第5回身体障害児等白浜招待旅行」の実施

今回は例年お世話頂いている“ホテル川久”が改築工事のため、南紀白浜アドベンチャーワールド見学をみの日帰り旅行となったが、過去最大の参加者となった。(表2)

なおこの行事は古田ガバナーの意向に従って地区社会奉仕委員会が提唱したものであるが、実際にはIGF各組から選出された実行委員会(表3)の自主的な活動によって周到に立案され、実行に移されたものである。

表4に示したスケジュールで行われたこの行事は、地区内全クラブのご理解とご協力、ワールドサファリ、JR西日本等の諸機関の「奉仕の精神」の実践を得て、無事執り行うことが出来て、当委員会も深く感謝しております。

なお、行事終了後、招待施設との反省会、出席ロータリアンへのアンケート調査、記録誌の作成等を行い、次年度への資料とした。

(表1)

		金品寄付	金品寄付 と 労力奉仕	労力奉仕
地域社会	一 般	30	13	3
	行 政	33	4	4
	福 祉	33	14	0
地区推奨	白 浜	2	44	0
	ボランティア	12	0	1
	高 齢 者	17	1	0
	緑 化	43	0	0
	ポリオその他	3	0	2
啓蒙活動及び 調査・研究		17	地区外への 奉仕活動	3

(表2)

参加者人数一覧表

I G F	招待児施設 or 会の名称		招 待 児	付 添 者	ロ ア ク タ ー	交 換 学 生	ロ ア ン タ ー	そ の 他	合 計
	ロータリークラブの名称								
1 組	白	池田市手をつなぐ親の会	15	10	1	1	17	0	44
	色	池田・池田くれは・箕面・箕面中央・豊中・豊中南・豊中千里・豊中ー大阪国際空港							
2 組	黄	レバノンホーム	23	4	1	1	12	0	41
	色	茨木・茨木東・千里・摂津・吹田・吹田西・高槻・高槻東							
3 組	赤	寝屋川市肢体不自由児父母の会	9	6	3	1	16	0	35
	色	大東・枚方・枚方くずは・門真・交野・守口・寝屋川・四條畷							
4 組	青	公德会・若江学院・武田塾・南河学園	19	4	0	0	18	0	41
	色	東大阪・東大阪東・東大阪中・東大阪西・大阪柏原・八尾・八尾東・八尾中							
5 組	黒	弘済院児童ホーム	7	2	3	1	19	*	35
	色	大阪・大阪中央・大阪堂島・大阪北・大阪大手前・大阪西北・大阪天満橋・大阪梅田・大阪梅田東							
6 組	緑	整肢学園	5	5	5	0	17	1	33
	色	大阪東・大阪東淀・大阪城・大阪城東・大阪北淀・大阪大淀・大阪城北・大阪鶴見・大阪淀川							
7 組	桃	海の子学園入舟寮	31	6	0	1	13	0	51
	色	大阪南・大阪港・大阪難波・大阪なにわ・大阪西・大阪西南・大阪心斎橋・大阪船場・大阪うつほ							
8 組	橙	南大阪療育園・敷津浦学園	16	8	3	1	25	**	54
	色	大阪阪南・大阪阪和・大阪平野・大阪城南・大阪南西・大阪住之江・大阪住吉・大阪東南・大阪阿倍野・大阪天王寺							
			ロータリーの友取材記者					1	1
			JR天王寺駅見送り					2	4
総参加人数			125	45	16	6	139	8	339

(注1) *大阪北RC事務局, **カメラマン

(注2) 地区本部委員及び実行委員は各組のなかに含まれている。

(表3) 国際ロータリー第266地区本部委員

ガバナー	古田 敬三(大阪)
担当バスターガバナー	中西 正二(大阪西)
ガバナーノミニー	武尾敬之助(大阪西北)
地区幹事	藤城 泰三(大阪)
社会奉仕委員長	三好 宏(大阪平野)
社会奉仕委員	永野啓之介(豊中-大阪国際空港)
〃	浜田 実男(高槻東)
〃	寺井 種伯(大阪天満橋)
〃	新津 敬直(大阪西)
〃	藤田 静男(大阪北)
〃	依岡 孝明(大阪平野)
〃	外山 紀郎(大阪なにわ)
実行委員会	
1組	深井 八郎(池田くれは)会計
2組	伊藤 實(茨木東)副委員長
3組	木下 久則(交野)記録
4組	森川 勝(八尾中)委員長
5組	元吉 正文(大阪中央)広報
6組	山田 秀雄(大阪鶴見)広報
7組	岡本 和治(大阪なにわ)会計
8組	亀井 龍彦(大阪阿倍野)記録
医療担当	新津 敬直(大阪西)
	三好 宏(大阪平野)
	依岡 孝明(大阪平野)
写真撮影	左海 潤一(大阪阿倍野)
	弘中 敬史(左海フォトプロ)

(表4) 日 程 表

昭和63年11月23日(水・祝)

8:50	集合 JR天王寺駅中央口 点呼 実行委員会 挨拶 古田ガバナー他
9:10	駅構内へ移動(プラカード先頭) 順次乗車
9:30	特急“くろしお6号”発車
11:26	白浜駅到着
11:30	バス乗車—発車
11:50	南紀白浜アドベンチャーワールド 到着 バスで周遊
12:20	象ランドでバス下車
12:30	ラッコ館、パンダ館見学
13:00	記念撮影(各組別)
13:30	イルカショー
14:00	オルカショー
14:30	バス乗車—発車
14:50	白浜駅到着・下車・駅構内へ
15:13	特急“くろしお17号”発車 軽食・ジュース配布
16:50	名札回収・忘れ物点検
17:12	天王寺駅到着 駅改札を出て流れ解散

緑化推進委員会

員委監本司供お記系一りまーロ際園 (公表)

委員長 圓井 東一 (大阪北)

委員 谷口 尚武 (大阪)

〃 山本研二郎 (大阪阪南)

〃 妹尾 四郎 (高槻東)

〃 行松 實 (東大阪)

〃 細川 俊三 (千里)

〃 檜崎 浩二 (大阪東)

1. 委員会の活動

1986年11月のR I理事会で決議されたR I決議86-209号「ロータリアンによる植樹と育樹を奨励する件」を契機として、当地区は松本ガバナーの提唱により1987~'88年度から緑化推進活動に地区を挙げて取り組むこととなった。当地区はかねてから松の緑を守る運動に力を入れており、また、大阪市内クラブの共同植樹(千里万博閉幕の昭和46年4月から毎年実施)や有志クラブによる熱心な緑化活動の実績もあり、さらに1990年4月から9月までの6カ月間大阪・鶴見緑地において「国際花と緑の博覧会」が開催される等の状況を踏まえてのことである。

その実施に当っては、目安としてロータリアン一人当たり5,000円(1本500円の苗木10本分)の予算で、各クラブが毎年自主的に決めて行うことを申し合わせた。その年度1年間の各クラブの緑化実績については、当委員会が取りまとめて一覧表とし、昨年12月に各クラブへ配布した。

昨年度以来地区を挙げて努力してきた「国際花と緑の博覧会」への協賛出展の件については、幸い全国のロータリアンの大方のご協賛を得て、目下着々と準備を進めている。これまでの主な活動内容は下記の通りであるが、特に懸案の出展内容については、かねて報告済みのロータリー・ゲート広場に南方系のシマサルスベリ8本をゲート状に植える形を基本として近く最終決定したいと考えている。なお、申し合わせにより、花博出展のための資金の拠出期間中は、各クラブの自主的な緑化事業は実施し

なくてもよいとされている。

- ①花博出展のための資金拠出の依頼文書の発信 (昭63.8.25)
- ②開発途上国援助のためのロータリー財団特別補助金申請書の提出 (昭63.10.25)
- ③花博出展 (正式には施設参加) 申込書の提出 (平1.1.13)
- ④花博前売り入場券購入についての協力要請文書の発信 (平1.2.8)
- ⑤当委員会の会議を3回開催。今後、年度内に1~2回開催予定。クラブ社会奉仕(緑化推進) 委員長会議を1回開催。
- ⑥その他関連する諸活動を行った。

2. 次年度委員会への伝達事項

地区委員長及び大部分の委員は留任するので、特に伝達すべき事項はないが、引き続き花博への協賛出展の件を推進したい。

青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー 坂東 宏(吹田)

青少年活動委員会

委員長 諏訪 正美(枚方)

委員 北井 綜一(東大阪東)

〃 山田 寛二(豊中南)

〃 津田 宏(門真)

〃 西 正中(大阪城北)

〃 山口 満雄(箕面)

〃 澤田 近裕(大阪心斎橋)

1. 委員会の活動方針

地域社会から国際社会にいたる舞台上、ロータリアンが青少年への奉仕を行い、青少年と共に現在という時間を共有し、指導力、奉仕の精神を伝え、友愛を深め、親睦を厚くするのが、ロータリーの青少年奉仕活動の特色であると思う。今年度もこの方針に沿って次の活動を行った。

- ①クラブ青少年委員長会議を1988年6月15日に薬業年金会館で開催した。事前にアンケートを行い、提出された各クラブの事業計画の要旨とRAC、IAC提唱とRYLAホストを一覧表にして提示、他クラブの活動を理解し易いように便宜を図った。
- ②前期に発行したRYLAシステム・マニュアルを1000部増刷し、各クラブならびに他地区にも購入して頂き、青少年奉仕とRYLA知識の普及に努めた。
- ③9月の青少年活動月間に充実した青少年奉仕活動が出来るように第3号ガバナー月信(9月1日発行)に「青少年活動月間に向かって」を掲載、各クラブの青少年委員会事業の参考に供した。

④RYLA 実施

1988年10月8～10日に府立総合青少年野外活動センター（豊能郡能勢町）で“山のRYLA”（ホスト：箕面RC）を開催。青少年124名（男子63名、女子61名）、内交換留学生6名（カナダ、アメリカ、西ドイツ）、米山留学生1名、ロータリアン127名、合計251名が参加。講演「我が友、植村直巳を語る」。講師は植村氏の明治大学山岳部同期生、広江研氏。

1989年5月3～5日にYMCA 阿南国際海洋センター（徳島県阿南市）で“海のRYLA”（ホスト：大阪心齋橋RC）を開催。

⑤財団法人大阪青少年活動振興協会等の関係団体と交流協力を行った。

2. 次年度委員会への伝達事項

委員長ならびに一部委員の交替があるが、次年度RYLA実施日程が次の通り決定している。

①山のRYLA 1989年11月3～5日、ホスト：摂津RC。

②海のRYLA 1990年 ホスト：大阪東淀RC。

ローターアクト委員会

委員長 目幸 等僊（大阪天満橋）

委員 飯原 弘章（大阪住吉）

” 辻 吉和（八尾東）

” 大西 晃夫（守口）

” 神戸 昭典（寝屋川）

” 三浦 高行（東大阪）

1. 活動報告

①地区内で多少の蠢動はあったものの設立増加は見られなかった。しかし、各RACにおける活動の充実と活性化は、提唱クラブの積極的な協力によって一層強化され

た。

- ②内にあるのは、良き伝統と慣行を踏まえ、斬新なプログラムの推進に伴うメンバーの親密度が深まると共に、外には提唱クラブとの連携をより密にし、地区公式行事、ゾーン合同行事等に積極的な参加が見られた。
- ③奉仕活動として、地区米山奨学会、社会奉仕委員会に協力、留学生との交流、会合等にそれぞれ参加協力することにより一層の相互理解を深めた。
- ④シンガポール及び香港への海外研修は年々活発になり、彼我RACの交流は計画どおりの成功を収め、互いに感動的な体験を得た。

2. 次年度への伝達事項

- ①RAC未提唱クラブに対して、創立5、10、15、20周年等の節目にRACの提唱を要請し、積極的に委員が当該クラブを訪問するなど増強を推進する。
- ②ガバナーの勧告は効果大なるものがあるので、公式訪問の際、RACガイドブック等を贈呈し、提唱を勧告して貰う。
- ③RAC活動の基本条件である会員増強のため、ロータリアンの子弟、経営・参画企業よりの参加・入会を勧め、一層の活性化と充実を図る。
- ④1990年9月の地区海外研修は韓国とし、指導と訪問地へのコンタクトを綿密にする。
- ⑤その他、地区委員は奉仕部門を分担、互いに協力して活動計画を実施成功させたい。

1988～89年度 国際ロータリー第266地区ローターアクト年間行事報告

年	月	日	行	事	主催・ホスト
88	7	3	日	第2回海外研修オリエンテーション	地区
		7	木	第1回提唱R C・R A C正副委員長会議	地区
		10	日	地区合同連絡会議及び 第1回リーダーシップフォーラム	大阪西南R A C
		24	日	第3回海外研修オリエンテーション	地区
	8	3	水	海外研修 シンガポール・香港	地区
		9	火		
		27	土	第1回総合会会長会	守口R A C
	9	11	日	全国統一R A Cの日(R Y L A)(米山奨学生)	枚方R A C
	10	31	月	海外研修解団式	地区
		29	土	新人オリエンテーション	大阪淀川R A C
	30	日			
	11	20	日	米山奨学生学友会交流パーティ	米山学友会
		23	水	身体障害児等白浜招待旅行奉仕	地区社会奉仕委員会
89	1	26	木	第2回提唱R C・R A C正副委員長会議	地区
		29	日	第2回総合会会長会及び 第2回リーダーシップフォーラム	大阪南R A C
	2	25	土	大阪ゾーン・北大阪ゾーン合同 ジョイントパーティ	寝屋川R A C 大阪天満橋R A C
	3	4	土	アジア第1・3ゾーン研修会	第259地区
		5	日		
	4	31	金	第266地区R I年次大会参加	地区
		1	土		
		9	日	地区スポーツ大会	地田R A C
		23	日	新旧会長・幹事会	大阪東R A C
	5	14	日	R A C地区年次大会	大阪住吉R A C
		14	日	次年度海外研修説明会	
	6	4	日	新旧奉仕委員長会議	大阪R A C
		17	土	新旧会長会	大阪平野R A C

インターアクト委員会

委員長 藤井 則郎 (大 東)

委 員 的場 勝彌 (大阪うつほ)

〃 重村 泰弘 (大阪南西)

〃 仲野 欣弥 (大阪阪南)

〃 横井梯一郎 (大 阪)

〃 塩山 高之 (大 阪 南)

〃 小室 甲 (大阪住吉)

〃 中島 孝夫 (八 尾)

1. 活動の報告

① 海外研修 (8月25日～30日)

前年度の反省を踏まえて、本年度も米国ハワイ州オアフ島でホームステイを実施した。総勢90名の研修団を編成し、往復の航空便は2班に分かれて分乗しました。詳細についてはガバナー月信及び海外研修帰国報告集を参照して下さい。なお、海外研修オリエンテーションは第1回を7月6日、第2回目を7月30～8月1日に大阪桐蔭高等学校岬研修センターで実施、第3回目を大阪桐蔭高等学校本館会議室で実施した。また、反省会は9月10日に実施。

② 年次大会 (11月23日)

今年度のホスト校である大阪桐蔭高等学校が中心になって大阪産業大学多目的ホールにて300名以上の参加者で盛大に開催した。ターゲットを“感動と友情”とし、大変有意義な成果を得た。午後は消防本部レスキュー隊の指導で救助法の実施訓練を受けた。

③ 新クラブの誕生

前年度より大阪阿倍野RCが提唱クラブとなり、準備を進めていた大谷中高等学校IACが誕生し、大阪城南RCが20周年の節目として、明浄学院高等学校IACを結成された。これで、当地区IACは9校となりました。

国際奉仕部門

担当パスト・ガバナー 戸田 孝(八尾)

世界社会奉仕委員会

委員長 宮田 宏章(大阪北)

委員 堀内 顕(八尾東)

〃 山本 康隆(大阪難波)

〃 本田 次男(大阪北)

〃 藤井 宏一(大阪西北)

〃 武尾敬之助(大阪西北)

1. 各クラブの活動

本年度のクラブレベルにおける WCS プロジェクトの活動は、クラブ単独でのプロジェクトの実施と地区に参加し、クラブでも実施の両方を合わせると26クラブになります。昨年度が24クラブでしたので、2クラブが増えたことになります。

本年度の特記事項としては、大阪東 RC が注射筒300万円分を DIN (現物拠出情報ネットワーク) に登録したことが挙げられます。この DIN への登録は日本では意外に少なく、大阪東 RC の登録が日本での3番目にあたります。これを機会に今後登録数が増えることが期待されます。

この他、毎年継続的に同種のプロジェクトを実施しているクラブや、毎回新しいプロジェクトを試みているクラブなど、いろいろなクラブレベルの活動がありますが、「ロータリーの友」にまとめが掲載される予定ですので、ぜひご覧頂きたいと存じます。

2. 地区プロジェクトの実施状況

本年度の地区プロジェクトは次の5つを計画し、全て終了しました。関係各位のご協力に心よりお礼申し上げます。

① タイの農民に耕作用水牛を贈る“バッファローバンク”

タイのナコムラジャシマ RC と共同で RI 財団に特別補助金を申請して承認され、

承認番号1408号としてUS\$5,000を支給されました。堀内委員が3月に現地を訪問して地区資金\$24,837と、ナコムラジャシマRCの\$1,000と共に直接手渡して非常に感謝されました。

② インドのスラム街の児童に英語による教育を行う“ホープアカデミー”

カルカッタのコシポールRCとインド産業ミッションとの協力の下に、スラム街の児童に英語教育を実施しているホープアカデミーの施設拡充のために、US\$20,852を送金しました。

③ フィリピンのハンセン氏病と結核の治療

セブ・フェンテRC会員で現地でハンセン氏病と結核の治療に献身されている星野先生の協力の下で、山本委員が現地を数回訪問・視察の上、100万円を直接手渡して参りました。

④ ブラジルの日系人病院の設備拡充

第2次大戦中に接收されてしまった日系人病院の再建が実現しましたが、設備面で不自由なためリベルダーデRC他と協力の上、資金を提供することになりました。宮田委員長が1988年10月に100万円を持参しました。

⑤ ビルマの肝臓ガンの治療

ラングーン総合病院で実施している肝臓ガン患者の手術のための「血管カテーテル療法」の資材が不足しており、北野病院の先生方のご尽力でラングーン病院からの医療留学生に託して現物160万円分を送付しました。

青少年交換委員会

委員長 入江 和夫 (高 槻)

委員 中 一皓 (枚方くずは)

” 田中 健次 (東 大 阪)

” 八木 頼夫 (大 阪)

” 三宅 一嘉 (大阪東南)

” 山本研二郎 (大阪阪南)

” 泉 潔 (豊中-大阪
国際空港)

1. 主な年間活動

- ① 派遣及び受け入れ交換学生オリエンテーション開催
- ② 交換学生歓送迎会、交換パーティ等の開催
- ③ ホストクラブ・ホストファミリーのオリエンテーション開催
- ④ 交換学生受け入れ、派遣見送り、出迎え及びオリエンテーションにレックス学生の協力の協力
- ⑤ 国内外の交換学生派遣、受け入れに関する折渉は一応終了したが、カナダの1地区のみ手続き未完了。
- ⑥ ホームステイについてホストファミリー及び来日学生からの率直な意見を聴取。
- ⑦ 受け入れ学生と広島原爆記念館見学。
- ⑧ 来日学生に対する日本語教育について検討し、最寄りの日本語学校を紹介。
- ⑨ 来日学生受け入れ可能公立学校の調査完了。
- ⑩ ドイツ語による交換のしおり（第266地区のルールを含む）を作成。
- ⑪ 交換学生等の感想文集の発行。
- ⑫ ホストクラブ、ホストファミリーへの感謝状作成。
- ⑬ 派遣学生に対する、派遣先の待遇等について調査した。

2. 青少年交換計画と交換ファンド

今年度の長期派遣学生は8名、受け入れ学生は10名。1989年3月に2名の派遣学生がカナダ、ニュージーランドから帰国した。なお、8月には1988～89年度派遣学生が6名帰国する予定。

前年度に引き続き、交換ファンドのために地区の全会員から年間2,000円の拠出金を戴き、それを交換計画実施経費として、長期交換学生のホストクラブに年間100万円の補助を行った。

レックス（交換学生OB、OG会）の活動がその機能を充実していくよう援助し、また、レックスには来日及び派遣学生のオリエンテーション等に対して、各自の体験を生かし、具体的に交換生活を説明させた。

3. 交換学生の状況

I] 派遣学生 (1988年～1989年)

No	氏 名	性別	年齢	ホスト R C	地区	国 名
	スポンサー RC			住 所		
1	北 本 篤 史	男	17	Peter Borough	701	カナダ
	枚 方			〒573 枚方市山ノ上5-50-12		
2	大 西 由 美	女	16	New Lynn	991	ニュージーランド
	大 阪 阪 南			〒571 門真市大倉町15-7		
3	峯 村 真 理	女	16	Weston, Toronto	707	カナダ
	大 阪			〒662 西宮市美作町9-27		
4	下 出 裕 子	女	17	Sterrling, Ill.	642	U S A
	大 阪 難 波			〒631 奈良市平松町662-4		
5	山 村 三 千 子	女	16	Jefferson City	605	U S A
	吹 田 西			〒560 豊中市刀根山6-11-1-810		
6	泉 朋 子	女	16	Layton, Utah	542	U S A
	豊中-大阪国際空港			〒560 豊中市山ノ上町6-22		
7	村 上 佳 織	女	16	Dinant Haute	217	ベルギー
	大 阪 東 南			〒591 堺市菩堤町4-38-45		
8	熱 田 邦 彦	男	16	Orangeville	707	カナダ
	四 條 畷			〒575 四條畷市清滝中町3-24		

(注) 1, 2の2名の交換期間は1988年3月～89年3月、他の者は1988年8月～89年8月

II] 来日学生 (1988年～1989年)

No	氏 名	性別	年齢	スポンサー RC	地区	国 名
				ホスト RC		
1	Francois Hugo Laloux	男	19	Dianat Heute-Meuse	217	ベルギー
				大 阪 東 南		
2	Karen Marie Bell	女	17	Cedar City	542	U S A
				豊中-大阪国際空港		
3	Cheryl Lynn Martin	女	19	Prot Perry	707	カナダ
				大 阪		
4	Stacie Lynn Symons	女	17	Orangeville	707	カナダ
				四 條 畷		
5	Sandi Alison McMillan	女	18	Tillsonburg	709	カナダ
				大 東		
6	Jeremy David McConnel	男	18	Webster Groves	605	U S A
				吹 田 西		
7	Misti Pearl Campbell	女	17	Minden	701	カナダ
				枚 方		
8	Clara Ann Welch	女	16	Muskegon	629	U S A
				大 阪 難 波		
9	Simon William Cornelius	男	16	Devenport	991	ニュージーランド
				大 阪 阪 南		
10	Max-Martin Kahrs	男	17	Rotenburg (Wumme)	185	西ドイツ
				枚方くずは		

(注) 9の交換期間は1989年1月～89年1月、他の者は1989年8月～89年8月

III] 派遣学生 (1989年～1990年)

No	氏 名	性別	年齢	ホ ス ト R C	地区	国 名
	スポンサー RC			住 所		
1	湊 谷 亜 由 美	女	17		510	U S A
	大 阪 西 南			〒659 芦屋市朝日ヶ丘町12-19		
2	寺 野 裕 子	女	17		595/6	U S A
	大 阪 東 南			〒537 大阪市東成区神路3-15-10		
3	岩 崎 道 子	女	18		584	U S A
	大 東			〒573 枚方市東香里新町8-14		
4	齊 藤 明 美	女	17		709	カ ナ ダ
	大 阪 鶴 見			〒562 箕面市半町4-20-17		
5	奥 澤 み な	女	17		605	U S A
	大 阪 う つ ぼ			〒666 川西市鶯の森町13-7		
6	西 藤 訓 年	男	16		707	カ ナ ダ
	大 阪 北 淀			〒562 箕面市瀬川4-19-12		
7	林 志 織	女	17	Frankfurt am Main	182	西ドイツ
	大 阪 東			〒563 池田市室町6-26		

(注) 1の交換期間は1989年3月～90年3月、他の者は1989年8月～90年8月

IV] 来日学生 (1989年～1990年)

No	氏 名	性別	年齢	スポンサー RC	地区	国 名
				ホ ス ト R C		
1	Kristy Lee Longley	女	14	San Marcos 大 東	584	U S A
2	Karen Lynn Johnson	女	17	Wabasha 大 阪 東 南	595/6	U S A
3	Tara Lee McCallan	女	15	Oakuille Trafalger 大 阪 鶴 見	708/9	カ ナ ダ U S A
4	Summer Anne Taskey	女	16	Vancouver 大 阪 南 西	510	U S A
5	Rachel Rebecca McCallie	女	16	Kirkwood 大 阪 う つ ぼ	605	U S A
6				大 阪 北 淀	707	カ ナ ダ

米山奨学委員会

委員長	永野啓之介 (豊中-大阪 国際空港)
委員	小杉 三郎 (豊 中)
"	三好 正三 (大阪大手前)
"	重光 世洋 (大 東)
"	渡辺 斌 (東大阪中)
"	井上 幾夫 (大阪淀川)
"	宮田 純夫 (箕 面)
"	崎山 耕作 (大阪住吉)
"	入江 輝彦 (高 槻)

1. 委員長変更について

1988年9月、中川藤一委員長(大阪西RC)逝去のため、後任委員長に永野氏を選出。

2. 寄 付 額 (1988年7月～1989年3月)

①全 国 寄 付 合 計	1,044,749,145円
会員一人当たり平均	9,693円
②第266地区 寄 付 合 計	92,595,540円
会員一人当たり平均	18,962円

地区合計額及び会員一人当たり平均額ともに全国第1位であった。

3. DisY-B 奨学生

今年度より、以前にロータリーが存在していた国(20カ国)からの大学院留学生を対象に、地区割当数の10%以内の奨学生を地区裁量で採用することになり、当地区でも実施に踏み切った。

4. 1989学年度奨学生数

	全 国	第266地区
申込総数	1,063人	63人
有資格者	1,014人	60人
新親採用数	274人	16人+1人(+1はDisY-A奨学生枠分)
継続受給者	172人	14人

(注)ロータリー米山記念奨学会よりの割当数等は上記の通りであったが、4月に当地区内継続需給奨学生2名が就職し、奨学金を辞退したので、新規採用補欠2名が繰り上がった。結果、第266地区奨学生は次のとおり。

継続受給者	12人
新規奨学生	19人(内 Dis-B 奨学生 4人)
CY 奨学生	1人
SY 奨学生	1人
合 計	33人

5. 1989学年度選考試験

①選考委員

一般委員	専門委員
古田 敬三(大 阪)	藤井 克彦(千 里)
武尾敬之助(大阪西北)	大野 真義(高 槻)
原田 秀雄(大 阪 北)	崎山 耕作(大阪住吉)
伊瀬 芳吉(池 田)	重光 世洋(大 東)
種田 憲次(大阪住吉)	塩川 二郎(千 里)
戸田 孝(八 尾)	山本研二郎(大阪阪南)
永野啓之介(豊中-大阪 国際空港)	坂東 宏(吹 田)
宮田 純夫(箕 面)	

②選考日程

1988年10月6日	米山選考委員会	於：ガバナー事務所
11月22日	DisY-B 奨学生資格審査	於：ガバナー事務所
12月15日	DisY-B 奨学生第1次選考会	於：ロイヤルホテル
12月21日	Y奨学生資格審査	於：ガバナー事務所
1989年1月9日	Y奨学生第1次選考会	於：ロイヤルホテル
2月14日	Y奨学生第2次選考試験	於：新阪急ビル
2月20日	DisY-B 奨学生第1次選考試験	於：新阪急ビル
2月22日	米山選考委員会	於：ロイヤルホテル

6. 地区行事・委員会等

- 1988年7月30日 クラブ米山委員長・カウンセラー 於：大阪国際交流センター
会議／奨学生を囲んでの昼食会
- 8月24日 米山記念奨学会評議員会 於：ホテルパシフィック東京
- 8月30日 全国米山奨学委員長会議 於：東京郵便貯金会館
- 9月6日 地区米山奨学委員会
- 9月11日 RACとの交流会(全国統一RACの日)
- 9月21日 地区米山奨学委員会
- 10月1日 米山月間(31日まで)
- 10月3日 クラブ米山委員長会議 於：薬業年金会館
- 10月3日 地区米山奨学委員会
- 10月22日 地区米山奨学委員会
- 10月30日 米山奨学生レクリエーション 於：万博迎賓館
- 1989年3月5日 米山奨学生終了者歓送会 於：ホテル南海
- 4月3日 地区米山奨学委員会
- 5月8日 地区米山奨学委員会
- 5月12日 地区奨学生オリエンテーション 於：ホテル南海

国際交流委員会

委員長 野村 浩司(大阪港)

委員 稲本 晃(大阪東)

” 嘉納 尚(大阪西)

” 松本 一夫(大阪中央)

” 加納 繁美(大阪梅田)

” 八田陸奥雄(大阪城北)

1. 第1回国際交流・ソウル大会行同委員会開催 (1988年5月18日)

テーマ ①ソウル大会行き

②次期活動計画

2. 活動計画アンケート (1988年5月30日)

1988年～89年度の各クラブの活動を知るために、各クラブ会長及び国際奉仕委員長宛にアンケート調査実施

テーマ ①国際大会が1989年5月21日から4日間韓国ソウル市で行われること。

(日本から15,000名の参加を韓国側が希望している。)

②この機会に韓国との姉妹クラブ関係を緊密にする。また、新しいクラブとの提携の促進について。

③韓国のクラブと共同でWCSに取り組んではどうか。

3. 海外クラブとの提携についてのアンケート (1988年7月23日)

地区内全69クラブから海外クラブとの提携についてのアンケート調査を行う。

4. 第2回国際交流委員会開催 (1988年7月28日)

ソウル大会に関するアンケート結果の報告

①大会行きの世話役を作るのに積極的 (76%のクラブが世話役を決める)

②韓国が地理的に近い関係で、費用の負担は一時支払が多い。

③夫人の参加を積極的に薦める (73%のクラブが薦める)

5. クラブ国際奉仕委員長会議開催 (1988年8月6日 於：薬業年金会館)

6. 世界大会VTR購入 (1988年10月)

フィラデルフィア国際大会 (1988年5月開催) のハイライトビデオを2巻購入。

地区資料として保存、貸し出し。本件はガバナー月信第4号で紹介。

7. 姉妹提携希望クラブの紹介

韓国延禧RC (第365地区) が第266地区のクラブと姉妹提携を希望していることをガバナー月信第8号で紹介。

8. 国際交流に関するアンケート結果報告

ガバナー月信第9号で国際交流に関するアンケート結果の報告を行った。

ソウル大会行委員会

委員長 世戸 一夫 (大阪難波)

委員 野村 浩司 (大阪港)

〃 土屋 正 (大阪難波)

〃 小川 肇 (大阪なにわ)

〃 吉田三七雄 (大阪南)

〃 稲葉 静也 (大阪)

1. ソウル国際大会の準備状況報告

韓国と日本で行われた日韓親善委員会に基づき、委員長からソウル国際大会の準備状況について報告がなされた。また、当地区から出来るだけ多数のロータリアン及びご家族が国際大会に参加される対策についても協議し、意見を交換した。

2. 当委員会と国際交流委員会の合同委員会開催 (1989年5月9日)

戸田担当パストガバナーをお招きし、両委員会の統括的な委員会を開催した。

a. 日韓親善会議 (4月27日東京で開催) の報告

b. ソウル国際大会の準備進捗情報の伝達

当地区から要望した下記の韓国側で準備が進められているとの報告

i) 円滑な通関の方策

ii) ジャパンブースの設置

iii) ROAR (ロータリー・アマチュア無線局) の設置

iv) 韓国に姉妹クラブを持つクラブと韓国クラブとの交歓の場を持つ

c. 大会プログラムの決定報告

d. 質疑応答 (富士海外旅行その他の旅行代理店担当者も出席)

3. 地区大会においてソウル大会行情報センター設置

3月31日～4月1日フェスティバルホールに於いて開催された地区大会会場入口正面に情報センターを設置してPRした。

4. 第266地区からの参加状況

約1,000名が参加。日本の中で最も参加者の多い地区の一つとしてソウル大会実行委員会から感謝されている。

ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー 種 田 憲 次(大阪住吉)

ロータリー財団委員会

委員長 種田 憲次(大阪住吉)

委員 名張 隆政(吹 田)

〃 木村 英一(大阪住吉)

〃 大社 照史(大阪淀川)

〃 中田 康仁(大阪南)

1. 第1回委員会(1988年6月3日)

- ①1988-89年度の主たる行事・委員会スケジュール
- ②財団奨学生派遣・受け入れの状況
- ③GSE派遣スケジュール(9月1日~10月9日)
- ④無条件寄付募金目標 一人当たり US\$100

2. 第2回委員会(1988年8月9日)

- ①IGFでの報告担当者の決定
- ②ロータリー財団月間卓話者のあっせん
- ③ポリオ・プラス(6月末) 69%

3. 第3回委員会(1988年10月21日)

- ①1987-88年度の無条件寄付総額 US\$387,274,71(褒賞枠 17口)
(一人当たり US\$83.58)
- ②ポリオ・プラス(7月末) 75%
- ③GSE派遣(第144地区)報告

4. 第4回委員会(1988年12月9日)

- ①TRFへの年次寄付目標額 US\$400,000
- ②1989-90年度奨学生15名の正候補に受諾書送付される(10月20日付)

③1990-91年度奨学生選考スケジュール決定

④GSE受け入れ(1989年3月28日～5月4日)

⑤ポリオ・プラス(10月末) 79%

5. 第5回委員会(1989年3月16日)

①1989-90年度各委員会予算の検討

②GSEファンドの設立希望

③ロータリー財団地区奉仕賞の選考

④無条件寄付総額(7月-12月) US\$162,478.01(一人当たり US\$34.48)

⑤ポリオ・プラス(12月末) 85%

※6月8日に次年度の地区ロータリー財団委員会の開催を予定している。

財団奨学金委員会

委員長 名張隆政(吹田)

委員 白羽弥右衛門(大阪阿倍野)

〃 大川進一郎(大東)

〃 阿部裕(大阪)

〃 塩川二郎(千里)

〃 西田陽一(茨木)

〃 大野真義(高槻)

〃 西原明(大阪心斎橋)

1. 本年度の活動

①1988年7月9日(土) 1989～90年度奨学金申請者第1次選考

●32RCから推薦された64名を選考して(語学)、32名を選ぶ。

②1988年7月23日(土) 第2次選考

●正候補者15名、補欠7名を選出。顧問ロータリアンを決め、地区確認事項を完結し、8月末に財団本部に申請書類一式を送付。

●10月7日正式受理。その後順次候補者に奨学金受領の承諾書類が送達される。

後に1名が辞退したので、補欠順位1番を繰り上げる。

③1988年8月20日(土) 1987～88年度奨学生の帰国歓迎会を学友委員会と共催。

④1988年10月15日(土) 本年度奨学金受領決定者及び推薦クラブ顧問ロータリアン
合同で第1回オリエンテーションを開催した。

⑤1989年1月28日(土) クラブ財団委員長会議開催

●1990～91年度財団奨学金の報賞枠が17名と決定

●申請スケジュールを今年度より約1カ月繰り上げ

a. 各クラブ締め切り 4月末

b. ガバナー事務所締め切り 5月13日

c. 第1次試験 6月4日(日) 新阪急ビル

d. 第2次試験 6月24日(土) 大阪YMCA

●特に語学能力の優秀(TOEFL 550点以上)な応募者の推薦を依頼

●ロータリー大学教員のための補助金の申請を4月15日までにクラブを通じて行
うようガバナー月信第9号に記載。

⑥1989年3月18日(土) 第2回オリエンテーション開催

●入学手続き等の進行状況の聴取、学友の報告、マナーの講習、その他質疑応答

●過年度候補者(平塚彰)が辞退したので、本年度補欠第3位を繰り上げ。

⑦1989年5月17日(水) 第264地区と合同の奨学金委員会開催

●1990～91年度奨学金申請者選考試験についての打ち合わせを兼ねて開催。

⑧1989年6月4日(日) 第1次試験実施

⑨1989年6月24日(土) 第2次試験実施

⑩1989年7月8日(土) 第3回オリエンテーション開催(於:大阪YMCA)

●1989～90年度奨学生壮行会を兼ねて開催

2. 本年度の受け入れ

①4月1日～来年3月末日までカナダ第629地区(North Sault Ste. Marie RC)か
ら下記奨学生が大阪大学法学部に留学。

●氏 名:アントニー・コンシル

●ホストクラブ:高槻RC

●カウンセラー:入野 敏夫

1988～89年度奨学生（現在留学中）

氏名	年齢	性別	クラブ	カウンセラー	留学先	課程	学校名
土方細 秩子	27	女	大阪北	荒井敬一郎	アメリカ	A	ボストン大学
藤本 亮	29	男	大阪住吉	木村 英一	アメリカ	A	ウィスコンシン州立大学
加藤 靖恵	22	女	豊中南	横井 輝男	フランス	A	ダンゲル大学
小林 亜子	28	女	摂津	銭谷 力	フランス	A	パリ国立高等実習学院
黒田 直明	22	男	大阪うつぼ	濱田 新	イタリア	B	サビエンザ大学
増田 恭子	23	女	箕面中央	野村 正勝	ブラジル	A	ボンティフィカ カトリック大学
三上 貴教	29	男	箕面	中西 和也	カナダ	A	カールトン大学
三輪 敦子	28	女	枚方	永井 峯一	イギリス	A	サセックス大学
望月 太郎	26	男	豊中-大阪 国際空港	松田 隆	ベルギー	A	ルーバイン カトリック大学
村上 聖子	26	女	大阪住之江	斉藤 昭	カナダ	A	クイーン大学キングストン校
中森 康文	24	男	大阪西	村岡 大輔	アメリカ	A	ミシガン大学
根岸 徹郎	30	男	大阪西	新津 敬直	フランス	A	モンペリエ大学
新田 恭子	21	女	豊中	須田 信英	アメリカ	B	シラキュース大学
伊藤 弘子	27	女	摂津	銭谷 力	アメリカ	A	南イリノイ大学
和田 文子	22	女	茨木	鱈洲 栄一	アメリカ	B	マカレスター大学
☆北内 正史	25	男	箕面	奥村 厚史	アメリカ	A	ノースカロライナ大学
☆大石 周	26	男	大阪阿倍野	渡辺 純一	インド	A	マドラス大学

☆北内 正史(1986～87年度奨学生)・大石 周(1987～88年度奨学生)

1989～90年度奨学生（現在手続き中）

氏名	年齢	性別	クラブ	カウンセラー	留学先	課程	学校名
阪上るり子	30	女	高槻東	西川 豊蔵	フランス	A	カーン大学
中井さつき	24	女	大阪東	稲本 晃	イギリス	A	ランカスター大学
阪井 葉子	27	女	千里	八木 俊雄	西ドイツ	A	ヴッパータール総合大学
松井佳奈子	25	女	豊中南	光本 義一	アメリカ	A	留学校変更申請中
朝倉 貴子	21	女	大阪住吉	山川 真	イギリス	B	東アングリア大学
栗山 栄美	22	女	門真	斎藤 正巳	アメリカ	A	バージニア州立大学
森口 由香	26	女	大阪天満橋	西海 栄悦	アメリカ	A	メリーランド大学
吉武 秀子	21	女	箕面	三島 功	スペイン	B	バルセロナ大学
松村 真樹	26	男	大阪阿倍野	浦野 庸三	アメリカ	A	コーネル大学
池田 遊魚	26	女	枚方	小野 泰三	西ドイツ	A	ボン大学
佐野 哲也	24	男	大東	中島 文教	アメリカ	A	カリフォルニア大学ロサンゼルス校
中村 都	31	女	豊中-大阪 国際空港	中川 邦介	アメリカ	A	スタンフォード大学
中川 恵	21	女	大阪平野	播磨 昌幸	フランス	B	(アーデンの)ランス大学
中屋 和久	30	男	大阪	桜井 良文	アメリカ	A	ハーバード大学医学部
中谷 毅	27	男	大阪住吉	崎山 耕作	西ドイツ	A	デュッセルドルフ大学
中田 厚仁	20	男	大阪南	中田 康仁	過年度候補者		平塚彰 辞退のため現在申請中
☆藤原 珠里	21	女	箕面	多田 慶三	アメリカ	A	マカレスター大学

☆藤原 珠里(1988～89年度奨学生)

※A：大学院課程 B：大学課程 C：職業研修 D：心身障害者教師 E：ジャーナリズム

研究グループ交換委員会

委員長	木村 英一(大阪住吉)	委員	銭谷 力(摂津)
委員	木川 稔(摂津)	〃	増田 鼎(八尾)
〃	村上 実(池田)	〃	辻 達雄(大阪南)
〃	東 平介(寝屋川)	〃	山川 真(大阪住吉)
〃	細江 重(大阪東淀)	〃	武尾敬之助(大阪西南)

1. 今年度はRI第144地区(デンマーク)と研究グループ交換(GSE)団員の派遣、受け入れを実施した。
2. 第1回委員会(7月16日)
 - 地区合同委員会の昼食休憩時に第1回委員会を開催。
 - GSE派遣団員オリエンテーション実施
 - a. 歌曲練習
 - b. デンマークの歴史とデンマーク語入門講義(大阪外国語大学菅原教授)
 - オリエンテーション終了後合同委員会で紹介。団長挨拶。団服着用。
3. GSE団員合宿オリエンテーション(8月6日～7日 於:伏尾鮎茶屋)
 - 東委員による日本古代史講義(石器示説)
4. GSE団員語学研修(8月12日～13日)
 - ベルリッツ語学校で派遣団員の英会話研修。
5. 派遣団員歓送会(8月22日 於:大阪クラブ)
 - 地区GSE委員会主催で開催。団長、団員共夫人同伴で出席。
6. 派遣団員大阪空港出発(9月1日)
7. 第2回委員会(9月22日)
 - RI第144地区GSE団員受け入れ組織に関する打ち合わせ。
8. 帰国GSE団員歓迎会(10月15日 於:ホテル新大阪)
 - ガバナー主催。団長・団員挨拶。ビデオ上映。
9. 第1回受け入れ実行委員会(10月19日 於:新阪急ホテル)
 - 5ブロックの受け入れ実行正副委員長、地区GSE委員会合同委員会。

- プログラム編成、ホームステイ等に関する基本方針打ち合わせ。
10. 第2回受け入れ実行委員会(12月10日 新阪急ホテル)
 - 各ブロックの受け入れ日程案等調整
 - 各ブロックから受け入れ計画案を1月17日までに提出することになる。
 11. 第3回委員会(1月19日)
 - 第144地区GSE団員受け入れについて、各ブロック実行委員会から提出された計画案に基づき、プログラムを編成。英文プログラム作成開始。
 12. 第4回委員会(3月16日)
 - プログラムに基づき、デンマークGSE団員受け入れの最終打ち合わせ。
 - プログラムを各クラブ、受け入れ実行委員会、第144地区GSE委員長、ロータリー財団GSEコーディネーター宛発送。
 13. RI第144地区GSE団員受け入れ
 - 3月28日ボージャ・クリスチャンセン団長と5名の団員が大阪国際空港に到着。ホテル阪神に案内・宿泊
 - 3月30日午後、委員長及び木川委員のオリエンテーションののち、ホテル阪神にてガバナー主催歓迎会開催。
 - 3月31日以降プログラム日程どおり滞りなく実施。団員一同無事使命を達成。
 - 5月1日開催のガバナー主催歓送会(ロイヤルホテル)で公式行事を終了。
 - 5月2日に4名の団員が、4日には1名の団員がボーナス旅行のためバンコックへ向け出発した。
 14. 第158地区GSEチーム受け入れ(4月15~16日)
 - RI第158地区(米国テキサス州)が第264地区に派遣したGSE団員を受け入れ、地区委員が毎日新聞社ならびに宝塚歌劇へ案内した。
 15. 当地区が第144地区へ派遣した団員報告書を作成中。
 16. 1990~91年度組み合わせ地区連絡。
 17. 次年度委員会への連絡事項
 - 次年度GSE団員の派遣、受け入れを実施しないが、年度内に翌年度の基本計画、補助金申請書作成、団員募集、団員選考、団長推薦、団員調書、団服作成、保険加入、オリエンテーション等出発準備を完了することが望ましい。

財団増進委員会

委員長 大社 照史(大阪淀川)

委員 田中 純吉(八尾)

〃 青野 明(交野)

〃 濱田 新(大阪うつほ)

〃 松原 鍵吉(箕面)

1. 本年度の活動

(1) 募金目標の明確化

①1988年5月7日次年度地区財団増進委員会開催。

②次期地区募金目標はドル建て表示とし、地区無条件寄付目標を一人当たり\$100と設定。地区協議会で各クラブの目標を立案するよう要請。

(2) 募金状況の把握と周知

①ロータリー財団管理委員会報告(1988.6.30現在)により、地区ロータリー財団寄付明細書(無条件寄付一人当たり\$83.58)を11月度ガバナー月信に記載。

②ポール・ハリス・フェロー、準ポール・ハリス・フェロー名簿(1988.6.30現在)の各クラブ分を送付。

③ポール・ハリス・フェロー、準ポール・ハリス・フェローの継続の勧誘を依頼。

④ロータリー財団管理委員会報告(1988.12.31現在)により、地区ロータリー財団寄付明細書(無条件寄付一人当たり\$29.64)を3月度ガバナー月信に記載。

(3) 財団情報と寄付金増進を期す

①1988年9月3日第2回地区財団増進委員会を開催。

②同日午後、クラブロータリー財団委員長会議開催。

a. 地区財団増進委員会の活動状況を説明。

b. 財団活動の円滑な増進を図った。

③1989年1月28日クラブロータリー財団委員長会議を開催(於：大阪YMCA)

a. ロータリー財団管理委員会からの関係資料(1988.12.31現在)を配布。

b. それを参考により一層の募金協力方を依頼。

- ④ロータリー財団委員会からのロータリー財団寄付明細書（1988.10.31 現在及び1989.2.28 現在）の写しを各クラブに送付。
- ⑤ポリオ・プラス募金の目どのついたクラブは無条件寄付に重点を置き、今後の地区ロータリー財団寄付がひずまないよう協力方を依頼。
- ⑥1989年2月9日第3回地区財団増進委員会を開催（於：ガバナー事務所）
無条件寄付一人当たり順位表（1988.12.31 現在）、ポリオ・プラス目標達成率及び付記を各クラブに送付。
- ⑦ロータリー財団管理委員会の報告（1989.3.31 現在）の地区ロータリー財団寄付明細書によると、無条件寄付一人当たり\$64.3、寄付総額\$303,046.79である。
- ⑧本年度IGFにおけるロータリー財団関係説明資料を各委員が分担して作成。

2. 次年度への継続課題

本年度に引き続き、ポリオ・プラス寄付目標達成または目どのついたクラブへの無条件寄付の要請。

財 団 学 友 委 員 会

委員長 中田 康仁(大阪南)

委員 木本 武雄(大阪北)

” 仲 芳樹(吹 田)

” 西村 一夫(池 田)

” 田川 弘雄(箕 面)

1. 第266地区学友会の構成

元奨学生	161名
元GSE団員	45名
顧問ロータリアン	68名
ロータリアン(元GSE団長、地区役員)	20名
	計 294名

2. 本年度PSC役員

1988年8月20日、大阪YMCAに於いてPSC総会を開催。次の役員を選出。

会長 松本和子

副会長 中村 眞

会計 繁田千尋

総会后、本年度帰国奨学生の歓迎会に合流、懇親を深めた。

3. 本年度第1回奨学生オリエンテーション(1988. 10. 15)にPSC会員が参加。本年度帰国奨学生の「留学体験レポート集」を小冊子に編集して、奨学生候補者に参考資料として配布した。
4. 1988年11月のロータリー財団月間に地区内15RCに卓話者を派遣。
5. 本年度第2回奨学生オリエンテーション(1989. 3. 18)にPSC会員が参加、有益なアドバイスを後輩に与えた。
6. 帰国奨学生の多くは再留学するため、帰国後のアフターケアは大変むずかしい。特に大学院課程の奨学生は殆ど全員が再留学する傾向にある。
7. 学友会活動の中核をなすものはPSC活動であるが、本年度PSC活動は極めて低調であった。会員に参加意識の昂揚をはかる上でも、出発前のオリエンテーションの充実が望まれる所以である。低調の原因は、ひとつにはPSC役員の人選にあったとしても、当委員会の指導性に重大な責を反省しなければならない。

ポリオ・プラス委員会

委員長 山中 文和(大阪南)

委員 執行 経世(枚方)

〃 池田 栄吉(池田くれは)

〃 木村吉弥太(大阪南)

〃 三好三郎丸(大阪天満橋)

〃 阪口 勇(大阪柏原)

1. 今期の初めの7月1日現在では、最終目標額に対する当地区の募金実績が69%でしたが、ガバナー公式訪問におけるご説明、ポリオ・プラス地区委員や財団関係の地区委員の力強い勧奨、ならびに地区内全ロータリアンのご協力により、2月末現在では達成率が94%になりました。
2. ポリオ・プラス委員会が3年前に発足した頃は、多くの苦情や質問が参りましたが、今やこのプロジェクトに対する理解が大変深まり、感謝しています。
3. 日本全体では、目標額40億円に対し77.8%まで到達したと報告されています。また、日本は今年度を含めあと3年間で目標を達成する計画ですが、当地区は来年度末までに募金活動を終える予定です。
4. 1989年2月末現在、当地区での目標達成率の最高は大阪柏原RCの175%、ついで大阪城東RCの167%であり、他に100%を超えているのが27クラブあります。反面、達成率66%以下のクラブも20クラブあります。
5. 接種活動も本格化し、世界79カ国にわたり、4億5,400万人の幼児を対象として、ロータリーが組織した医師団がユニセフとの協力のもとに活動を行い、既に相当の効果があがっています。

国連事務局からの報告では、「お陰様でここ数年の内に全世界のこどもたちからポリオを根絶できる見込みがたった」とのことです。ロータリーのポリオ・プラス活動が起爆剤となり、全世界からポリオを根絶できたとしたら大変すばらしいことだと皆様のご協力に感謝しています。
6. 今年度の大きい目的に目標達成率の低いクラブの方々にいかにして抵抗感なく募金の増額を願えるかということにあります。昨年12月より毎月にあつてこのようなクラブに地区全体の一覧表を送付し、それとなく募金増額をお願いしてきました。

いましばらくこのような方法で督促していきますが、半年が過ぎたころに、まだ100%に達しないクラブには地区委員が手分けして最終募金目標の達成をお願いしに上らなければならないと思っております。
7. 既に100%を超えているクラブには、事情の許す限り、今後は無条件寄付の方へご送金願えるようお話ししていきたいと思っております。

拡 大 部 門

担当パスト・ガバナー 世 戸 一 夫 (大阪難波)

拡 大 委 員 会

委員長 世戸 一夫 (大阪難波)

拡大カウンセラー

高林 辰行 (大阪西北)

森藤 憲一 (大阪城)

辻井 録郎 (大阪阪南)

委員 田代 通 (守口)

〃 藤本 哲雄 (寝屋川)

〃 瀧川 紀征 (吹田西)

1. 大阪天王寺RCの発足

大阪阪南RCがスポンサーとなって、新クラブ「大阪天王寺RC」が辻井録郎氏をガバナー特別代表に、松本重太郎、松本恵両ロータリアンを代表補佐として、を9月11日に創立総会、同26日にチャーターナイトを挙行し、古田ガバナーから認証状が伝達されました。

2. 高槻西RCの発足

高槻東RCをスポンサーに、ガバナー特別代表として松野稔氏、拡大補佐に三好誠一氏をお願いして高槻西RCがこの6月15日に創立総会を開くことになりました。年度内に認証状伝達式を行う予定にしています。

自 昭和63年 7月 1日
至 平成元年 4月30日

国際ロータリー第266地区 収支報告書

ガバナー 吉田 敬三
地区財務委員長 吉川 秀一
地区会計 下地 民男

(収入の部)

科 目	予 算 額	4月収入額	累 計 額	前年度累計額
前 期 繰 越 金	9,000,000	0	10,951,837	16,024,239
R I 交 付 金	800,000	0	776,250	680,127
地 区 資 金 15,000円×4,700人	70,500,000	200,000	73,171,000	69,052,500
雑 収 入	700,000	0	1,843,282	67,045
合 計	81,000,000	200,000	86,742,369	85,823,911

(支出の部)

科 目	予 算 額	4月支出額	累 計 額	前年度累計額
委 員 会 活 動 費	(22,750,000)	(1,485,889)	(16,869,754)	(16,253,608)
地区ガバナー指名委員会	150,000	0	174,920	200,000
意義ある業績費委員会	30,000	0	0	650
クラブ奉仕部門	180,000	0	80,834	193,580
広報雑誌委員会	400,000	4,290	383,378	450,000
規定情報委員会	500,000	422,976	516,066	211,990
職業奉仕部門	130,000	1,200	107,204	150,000
社会奉仕部門	350,000	500	465,737	315,520
緑化推進委員会	300,000	48,550	236,982	208,005
青少年奉仕部門	2,200,000	294,834	916,510	388,609
インターアクト委員会	2,600,000	0	2,088,540	2,563,600
ローターアクト委員会	5,000,000	0	5,294,333	8,480,563
国際奉仕部門	150,000	△98,000	107,637	128,006
青少年交換委員会	350,000	600	346,408	340,332
米山奨学委員会	420,000	△58,622	283,250	456,559
国際交流委員会	130,000	0	70,225	250,000
ソウル大会行委	130,000	0	31,928	-
拡大部門	150,000	56,530	144,353	139,620
ロータリー財団部門	50,000	720	24,084	32,890
財団奨学金委員会	1,200,000	101,035	1,202,056	966,769
研究グループ交換委員会	6,850,000	498,384	3,892,539	40,190
財団増進委員会	230,000	4,980	174,760	181,490
財団学友委員会	400,000	207,912	307,932	360,380
ボリオ・プラス委員会	200,000	0	20,080	28,770
委員会活動予備費	650,000	0	0	166,135
会 議 費	(7,250,000)	(△56,530)	(6,148,750)	(7,136,220)
地区大会補助	300,000	0	300,000	300,000
地区協議会補助	300,000	0	0	300,000
地区委員会	2,800,000	628,380	2,722,220	2,487,796
ガバナー打合せ会議費	1,500,000	△1,197,710	1,025,730	1,500,000
R.I. 会長記念品代	150,000	0	150,000	150,000
同上歓迎会	350,000	0	387,200	350,000
西前ガバナー記念品代	250,000	0	250,000	250,000
G.N. 国際会議参加補助	800,000	0	800,800	800,000
予 備 費	800,000	512,800	512,800	998,424
日本国内地区ガバナー会	(940,000)	(0)	(964,600)	(914,700)
ロータリー文庫協力費 200円×4,700人	(940,000)	(0)	(964,600)	(914,700)
リハビリテーション世界会議協賛金	-	-	-	(920,000)
地区大会分担金 3,000円×4,700人	(14,100,000)	(150,000)	(14,607,000)	(15,971,750)
ガバナー月信印刷費	(8,500,000)	(1,113,606)	(6,154,606)	(7,055,000)
製版・印刷・送料・ホルダー	8,200,000	1,113,606	6,154,606	7,055,000
予 備 費	300,000	0	0	0
事 務 所 経 費	(20,520,000)	(1,680,193)	(17,421,219)	(15,743,670)
給 料	9,000,000	798,500	7,739,670	7,586,300
借 室 料 ・ 光 熱 費	3,520,000	160,000	3,040,000	2,258,395
ガバナー交通会費	1,200,000	0	980,000	1,050,000
印 刷 費	1,500,000	73,856	1,187,780	1,461,066
交 通 通 信 費	2,000,000	403,005	1,977,546	2,032,030
文 献 費	150,000	0	53,305	78,100
事 務 用 消 耗 品 費	1,000,000	55,595	218,860	378,402
什 器 備 品 費	400,000	0	473,524	182,800
雑 費	1,500,000	189,237	1,550,534	716,477
予 備 費	250,000	0	200,000	0
合 計	75,000,000	4,373,158	63,130,531	64,909,648

1. 財産目録	現金	221,572 (77,555)	前渡金	7,000,000 (7,500,000)
()は前年度	普通預金	4,390,266 (普通預金 1,336,708)	立替金	0 (0)
	定期預金	12,000,000 (定期預金 6,000,000 通知預金 6,000,000)	差 引	23,611,838 (20,914,263)

自 昭和63年 7月 1日
至 平成元年 4月30日

国際ロータリー第266地区
特別会計

カバナー 古田 敬三
地区財務委員長 吉川 秀一
地区会計 下地 民男

1. 青少年交換ファンド 会員1人 2,000円 (年2回)

(単位:円)

科 目		金 額	摘 要
前	期 繰 越 金	6,787,232	
収	前月迄収入累計額	9,696,595	RC分担金 9,643,000 預金利息 33,995 上宮高校より 19,600
	当 月 収 入		
入	地 区 収 入		
	雑 収 入		
	合 計	9,696,595	
支	前月迄支出累計額	8,486,480	補助金 7,800,000 歓迎会費用等 700,020 旅費入金 13,540
	当 月 支 出		
出	印 刷 費	110,000	
	諸 経 費	△65,945	通信費・事務用品・振込手数料等 旅費入金 176,020
	補 助 金		
	合 計	8,530,535	
差 引	当 月 末 残 高	7,953,292	普通預金 1,953,292 定期預金 6,000,000

2. ライラ指導指針

科 目		金 額	摘 要
前	期 繰 越 金		
収	前月迄収入累計額	1,591,914	1,591,000(59577) 預金利息 914
	当 月 収 入		
入	販 売 代 金		
	雑 収 入		
	合 計	1,591,914	
支	前月迄支出累計額	670,800	システムマニュアル1,000冊・振込手数料
	当 月 支 出		
出	諸 経 費		
	合 計	670,800	
差 引	当 月 末 残 高	921,114	普通預金

3. 国際花博出展基金

科 目		金 額	摘 要
前	期 繰 越 金	6,580,647	
収	前月迄収入累計額	35,557,412	35,513,395(34757) 8地区 他1) 預金利息 44,017
	当 月 収 入		
入	預 り 金	24,893,250	31757) 8地区
	雑 収 入	20,046	受取利息
	合 計	60,470,708	
支	前月迄支出累計額	30,210	切手代・振込手数料・表彰状等
	当 月 支 出		
出	花 博 出 展 基 金	48,000,000	
	諸 経 費	412	振込手数料
	合 計	48,030,622	
差 引	当 月 末 残 高	19,020,733	普通預金

4. 世界社会奉仕委員会基金 会員1人 3,000円 (年1回)

科 目		金 額	摘 要
前	期 繰 越 金	3,843,549	
収 入	前月迄収入累計額	8,951,640	RC分担金 8,910,600 預金利息 41,040
	当 月 収 入	地 区 収 入	
		雑 収 入	
	合 計	8,951,640	
支 出	前月迄支出累計額	9,445,318	ブラジル日系人病院設備拡充費・フィリピンのハンセン氏病の治療 ビルマの肝臓ガンの治療・アルメニア地震義援金 パップアローバンク分担金・ホープアカデミー拡充・振込手数料
	当 月 支 出	寄 附 金	
		諸 経 費	98,000
	合 計	9,543,318	
差 引	当 月 末 残 高	3,251,871	普通預金 1,251,871 定期預金 2,000,000

5. 社会奉仕委員会身障児等招待費

科 目		金 額	摘 要
前	期 繰 越 金	328,789	
収 入	前月迄収入累計額	3,554,408	3,520,200(69ｸﾞﾗﾌ) 預金利息 1,404 参加費口座より振替 32,804
	当 月 収 入	地 区 収 入	
		雑 収 入	
	合 計	3,554,408	
支 出	前月迄支出累計額	3,880,400	実行委員へ 3,880,000 振込手数料 400
	当 月 支 出	諸 経 費	
	合 計	3,880,400	
差 引	当 月 末 残 高	2,797	普通預金

6. マニュアル編集委員会

科 目		金 額	摘 要
前	期 繰 越 金	85,652	
収 入	前月迄収入累計額	6,103	6,000(2ｸﾞﾗﾌ) 預金利息 103
	当 月 収 入	販 売 代 金	2,000
		雑 収 入	
	合 計	8,103	
支 出	前月迄支出累計額		
	当 月 支 出	諸 経 費	
	合 計		
差 引	当 月 末 残 高	93,755	普通預金

7. 職業分類編集委員会

科 目		金 額	摘 要
前	期 繰 越 金		
収 入	前月迄収入累計額		
	当 月 収 入	販 売 代 金	115,000
		雑 収 入	
	合 計	115,000	
支 出	前月迄支出累計額		
	当 月 支 出	諸 経 費	
合 計			
差 引 当 月 末 残 高	115,000	普通預金	

地 区 大 会

委員長 木 村 五 郎(大 阪)
幹 事 西 川 実(大 阪)

1. 地区大会の基本方針

本年度地区大会の基本方針は、古田ガバナーのご意向により次のようにした。

- ① オーソドックスな中にも楽しく、心に残るような大会にする。
- ② 地区大会規定である“2日間に亘り9時間を充てる”を順守すると共に、大会の流れを十分に検討して、途中退席者を極力減らすことができるようなプログラムを作成する。

2. 地区大会の準備

基本方針を実現するために、地区大会事務局を開設し、地区大会実行委員会を組織して、大会正副委員長、正副幹事を中心に、総務、プログラム、登録、会場、接待、広報、記録、救護、会計、ソング、ゴルフの11小委員会を設置。それぞれ担当の問題に対して企画立案、準備実行に当った。

3. 実行委員会の活動

各小委員会は、必要に応じて随時会合を重ねると共に、実行委員会全体の連絡打ち合わせ会議も数回開催した。会場の実地調査、リハーサルも行き、準備の促進を図ると共にその万全を期した。

重点的目標としては、

- ① 参加者の皆さんにご満足を戴けるよう、参加者の立場に身を置いて全ての企画立案を行う。
- ② 特にプログラムの作成と演出の方法、接待の方法に留意する。
- ③ 3,000名を越える登録を確保する。

ということであった。

登録の確保は、第1段階における最重要課題であり、古田ガバナーにご援助を仰いだほか、委員が手分けして地区内全クラブを訪問して登録のお願いをした。また、ホ

ストクラブ会員の関係する会社組織、団体組織を通じてのお願い、他クラブの友人、知人への電話、手紙によるお願い。IGF、その他ロータリーの行事、会合、例会の場におけるお願い等々、委員のみならず、ホストクラブ全員が努力を傾注した結果、3,566名のご登録を戴くことができた。心から感謝申し上げる次第です。

4. 次年度委員長への伝達事項

本年度の大会記録は、近日小冊子にまとめて配布する予定であるが、詳細な資料はクラブに保存しているので、必要に応じて質疑にお答えできるものと思う。

次年度地区大会のご成功を祈ります。

「奉仕の理想」

作詞・元京都RC 前田源一郎

作曲・元東京RC 萩原 英一

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の業い
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

「我等の生業」

作詞／高野 辰之

作曲／岡野 貞一

我等の生業さまざまなれど

集いて図る心は一つ

求むるところは平和親睦

力むるところは向上奉仕

おお ロータリアン

我等の集い

